

氏名	立崎 博則 (たちざき ひろのり)	講師
担当科目	[教養科目] 教養キャリア基礎演習Ⅰ、Ⅱ [専門科目] 造形基礎、幼児と造形表現Ⅰ、Ⅱ、造形表現の展開Ⅰ、保育内容 「表現」の指導法Ⅰ、Ⅱ、保育技術演習、保育・教職実践演習Ⅰ、 子ども研究Ⅰ、Ⅱ、保育総合表現、保育実務研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	
研究分野	幼児美術、現代アート、ワークショップ	
学位	修士 (芸術学)	
主な 教育研究 業績	<p>① 学術論文 (単著)</p> <p>立崎博則 (2016) 幼稚園の作品展の可能性の研究の為の現状調査, 青森中央短期大学研究紀要(29)</p> <p>立崎博則 (2017) 幼稚園の作品展の可能性の研究の為の実践と考察, 青森中央短期大学研究紀要(30)</p> <p>立崎博則 (2018) 子ども達の笑顔が見える展示を目指して -主体的な制作活動とコミュニケーションが生まれる作品展の考察-, 青森中央短期大学研究紀要(31)</p> <p>立崎博則 (2021) 保育者養成におけるストップモーションアニメーションを使ったおりがみ動画による造形表現の指導への効果の考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (62)</p> <p>立崎博則 (2022) 造形活動における保育者の素材を選ぶ視点と保育経験の一考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (63)</p> <p>(共著)</p> <p>立崎博則、木戸永二、佐貫巧 (2019) 造形表現を考える場としての作品展の実践と考察, 青森中央短期大学研究紀要(32)</p> <p>立崎博則、名和孝浩 (2020) 保育実習指導における保育表現の実演による実習への不安と意欲の変化についての考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (61)</p> <p>名和孝浩、立崎博則 (2020) 保育・幼稚園実習における保育計画の指導の手がかり, 大垣女子短期大学研究紀要 (61)</p> <p>② 作品展示 (グループ展)</p> <p>第13回サッポロ未来展(2015) 札幌時計台ギャラリー/青森県立美術館 あかりのありか(2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018) ギャラリーNOVITA</p>	
所属学会		

社会的 活動業績	<p>2015年, 2016年, 2017年, 2018年 青森中央短期大学公開講座 「日常を楽しくするデッサン教室」</p> <p>2016年 青森中央短期大学出前講座「保育士・幼稚園教諭になるために ～造形遊びから学ぶこと～」</p> <p>2016年, 2017年, 2018年 講座「子どもの"作る"を考える」百石幼稚園子どもフェスタ</p> <p>2019年, 2020年 教員免許状更新講習「子どもの造形表現とこころ」</p> <p>2020年 山県市保育研究会「子どもと楽しむ造形遊び」</p> <p>2021年 教員免許状更新講習「子どもの造形表現」</p>
その他	